

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 28日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪8F

氏 名 名工建設株式会社 大阪支店  
執行役員支店長 大竹淳次

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6350-3730

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	名工建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪8F
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	187億円
③ 従業員数	177人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の処理は処理業者に委託を行う。がれき類・コンクリート破片等、再資源化が可能な物については出来る限り再資源化を行う。廃石綿等再生が不可能なものについては最終埋立・焼却処分とする。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添資料による

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトがら
	排出量	784.94 t	216.91 t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	排出量	18.7 t	15.08 t
	(これまでに実施した取組)		
可能な限りの分別を実施			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトがら
	排出量	1000 t	1000 t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	排出量	10 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)		
建設現場の工事量により排出量が変わりますが、再利用出来る物については出来る限り再利用する。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物について、再生が可能な物は分別し再生処理とした
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物について、今まで以上に意識を持って分別・再生処理に取り組む

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  実施をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  現段階では実施予定は無い		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  実施をしていない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  現段階では実施予定は無い			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  実施をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  現段階では実施予定は無い		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計シートによる	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)  電子マニフェストの取り扱いが有る業者に委託を行っている。 また、		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計シート による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物処理計画書 集計シート

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		( ⑩ = ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ = ⑫+⑬+⑭+⑮+⑯ )							
			委託先による区分						⑪ 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	
			⑫再生利用業者への 処理委託量(t)		⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)		⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)			
法で定められている種類(シュレッ ダーダストなど、一体不可分のも のについては、空欄行に記載して ください。)	当該事業場において生じた 産業廃棄物の種類ごとの量		⑩の量のうち、処理業者への 再生利用委託量(⑬, ⑭除く)		⑩の量のうち、認定熱回収施設 設置者である処理業者への焼却 処理委託量		⑩の量のうち、認定熱回収施設 設置者以外の熱回収を行っている 処理業者への焼却処理委託量		⑩の量のうち、優良認定処理業者 への委託処理量	
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標
コンクリートがら	784.94	1000.00	784.94	1000.00						
アスファルトがら	216.91	1000.00	216.91	1000.00						
木くず	18.70	10.00	18.70	10.00						
管理型混合廃棄物	15.08	50.00	15.08	50.00					15.08	50.00
合計	1,035.63	2,060.00	1035.63	2060.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.08	50.00

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。